

4-8 自然の家人と自然の交流事業

事業目的

県立の3自然の家が実施する自然体験プログラムによる自然体験を通じ、日常生活や家庭での生活習慣等を改善して「具体的な行動」につなげていくとともに、環境意識を高め、人間が環境と調和することの大切さを実感することができる人材の育成を図ります。

事業効果

二酸化炭素の削減効果	- t-co2
その他(参加者数見込)	延べ345人

事業内容

【平成28年度事業費】 1,667千円

【事業量】 自然の家人材養成回数 計12回 参加者数 延べ345人

【実施主体】 宮城県(蔵王, 松島, 志津川自然の家)

◇蔵王自然の家: 環境と登山, 野外活動指導者研修会, 初心者のための山ガール教室

◇松島自然の家: バードウォッチング入門

◇志津川自然の家: 海に親しむ会, 星座&野鳥観察, バードウォッチング入門



志津川バードウォッチング入門

現状

- ◇ 日常の生活において、自然に親しみ自然環境について考える機会が減少している。
- ◇ 様々な開発や生活の変化等の影響から環境問題が多様化している。
- ◇ 地球規模での環境問題が指摘され、世界的な取組が求められている。

税導入後のイメージ

- ◇ 社会教育施設である自然体験プログラムの学習体験が家庭の生活習慣や生活様式改善への行動につながり、多様化する環境問題に対する理解や意識の向上を図ることができる。
また、観察・実験や調査等のプログラムを通して自然環境や生活環境を大切にしていこうとする意識や態度を醸成させるとともに、人間と環境のかかわりについて理解し、環境への関心を高め環境と調和できる人材育成を図ることができる。